

# 舟山

発行者  
幸田町立南部中学校  
鈴木 一也  
第115号

## 春季体育大会頑張りました 優勝:卓球



勝利に向けて

五月十四日に南部中、幸田中、北部中、町弓道場で幸田町中学校春季体育大会が行われました。十一日の激励会では、それぞれのチームが、目標や意気込みを全校の前で披露し、気持ちを新たに大会に臨みました。当日は雨の影響があり予定時間を遅らせて行う種目もありましたが、選手は、練習の成果が発揮できるよう粘り強く試合に挑んでいました。接戦が多く、どのチームも新人戦より力をつけてきていました。練習の成果が発揮できた部もそうでなかった部もあるかと思いますが、今回の経験を学校生活や夏の大会に生かして欲しいです。

### 悔しさを糧に

三年 渡邊 大雅

自分たち卓球部男子は、今回の春季大会優勝を目標として、一人一人が課題をできるようにするまで練習に励んできました。しかし、残念ながら優勝することはできませんでした。一番の要因は精神面の弱さだと感じました。チームとしてのまとまりや声掛け、絶対勝つてやるという強い気持ちなどが負けていたように感じました。技術があっても、それを全部出せる精神面も鍛えないと勝つことは難しいと改めて気づきました。夏の大会までの残された期間で技術力の向上はもちろん、チームとして戦い、絶対勝つという強い気持ちも鍛えていこうと決めました。出せる力を全て出し、南中生として、恥ずかしくなく、悔いの残らないように戦い、チーム一丸で優勝をめざしていきたいと思います。

### 春季体育大会結果

#### ○団体の部

優勝 卓球女子

優勝 卓球女子 岩瀬 由奈

剣道男子(低学年) 武田 良成

第二位 弓道女子 加藤 李佳

卓球男子 稲吉 陽斗

### 部活動が始まって

一年 山崎 菜生

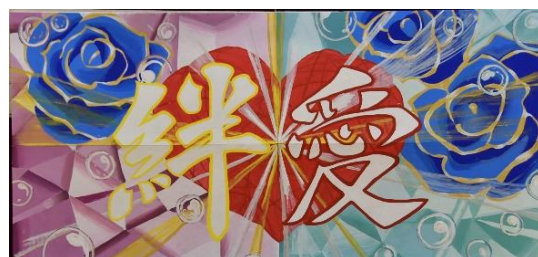
「やー、めーん!」その声とともに面を打つ竹刀の音が剣道場に響き渡ります。先生方のかっこいい立ち振る舞いと、先輩方の礼儀正しい姿勢と真剣な姿に心ひかれて、剣道部に入部しました。

今日はどんな練習をするのか、何を教えていただけるのかと、どんなときでも考えてしまうほど、剣道が好きになりました。最近では、家ですり足や踏み込みの練習をしています。そうやって練習を重ねていくうちに成長していると日々実感することができています。

私はまだ入部したばかりですが、仲間と共に支え合いながら、いつか「感動の一本」をとれるように日々がんばりたいと思います。



体験部活に取り組む1年生



全校スローガン「絆愛」

### よしもと商中へ

三年 高橋 若菜

今年度の全校スローガンは「絆愛」に決定しました。「絆愛」には、「行事や日常生活などを通して、全校一人一人の存在を大切に絆が深まるようにしたい」、「授業や日常生活のどんなことも大切にして、一つ一つのことを仲間とやり抜き、共に成長していきたい」という思いを込めて今年度の生徒会で考えました。また、今年度は南部中学校開校四十周年と節目になる年です。これまでの先輩や、保護者の方々、地域の皆様が創ってきた様々な伝統の上に、私たちの代で新たな伝統を重ね、よりよい南部中学校にしていきたいと考えています。この一年間全校スローガン「絆愛」を大切にして、全校生徒一四七人で創っていく一年にしたいです。

### 学校行事の中から

#### 新入生オリエンテーション

一年 大橋 篤哉

私はオリエンテーションの実行委員に選ばれました。中学校生活最初の行事で、上手く司会進行を務められるか、不安な気持ちもありました。

一・二時間目は、みんなでテスト対策について話し合いました。「苦手な教科を先にする。」「先に課題を終える。」など、たくさんアイデアが出されたので、参考にしたいです。

三時間目からは、各クラスで考えたレクリエーションをしました。私たち二組は準備に時間がかかり、遊ぶ時間が減ってしまいましたが、みんなの楽しむ姿を見られたのでよかったです。

このオリエンテーションを通して、学年の絆が深まりました。また、終わってからは先生に褒めていただき、次回も挑戦したいと思いました。



レクを終えた2組実行委員

#### 新入生歓迎会を振り返って

一年 藤本 大洋

新入生歓迎会では、生徒会役員として「一年生に楽しんでもらいたい、笑顔になつてもらいたい」という願いをもって臨みました。

二年生タイムでは、自分たちがつくった学校生活をテーマにした動画を制作して披露しました。一年生が笑顔になってうれしかったです。三年生タイムの「南中ソーラン」は短期間で練習をしたとは思えないほど、先輩たちの気持ち、熱量、迫力を感じました。

私自身も、どの学年にとってもいい刺激を受けました。全体を通して、一年生の笑顔や楽しんでいる顔があつて、この新しい仲間たちとこれから全校で一つになつてがんばっていききたいという気持ちが高まりました。

#### 先輩としての責任

一年 丸山 夏葵

私たちは、今年初めて『先輩』という立場になりました。一年前、入学した頃の深溝地区の友達との出会い、部活動への入部など、初めてのことがばかりでも不安でした。そんなとき、優しく声をかけてくれる先輩の存在が私に学校生活の中で安心を与えてくれました。

二年生というのは、最高学年である三年生を支え、一年生からお手本として見られる学年です。私はまだ、頼りになる先輩の姿にはなれていません。

この一年、学年目標『結進』を意識して生活していき、失敗を恐れず、目の前のごとに全力で取り組み、責任ある行動を心がけていきます。そして、私たちが後輩から頼りにされ、憧れられる先輩をめざしていきたいです。



南部中2年生一同

#### 新入生歓迎会を終えて

三年 天野 修希

新入生歓迎会は、私が、生徒会に入つて初めて全校の前に立ち、指示を出して創つていく学校行事でした。緊張する場面もあったけれど、全校のみんなが新入生歓迎会を成功させようとする、温かい雰囲気をつくってくれたことで、失敗を恐れずに行うことができました。

三年生は、南中の伝統の一つである「南中ソーラン」を踊ることになりました。初めて踊った時はそろろのか不安でしたが、何回か練習を重ねていくうちに三年生の動きと心がそろい、今見せられる全力の姿を披露することができました。これからもレベルアップさせていきたいです。生徒会としてもまだまだ課題があります。一つ一つみんなで改善してよりよい行事となるように全力を尽くしていきます。



南中ソーラン